

北竜町地域商業自立促進調査分析事業報告

建物の老朽化によるAコープ北竜店撤退に伴う、町民の買い物に対する色々な声を聴くために北竜町商工会では昨年10月に全戸に「アンケート調査」を実施しました。807世帯に配付し、651世帯が回答し80.7%の高回収率でした。

このアンケート調査を中小企業診断士の山下雅司さんが分析し3月17日に公民館で町民56人の参加により報告会を行いました。

【アンケート結果】

現況の買い物について

●食料品をどこで買いますか？

・深川市のスーパー71.9%・Aコープ北竜店65.4%・碧水のコンビニ33.8%・滝川市のスーパー32.6%

●食料品を購入する際の条件は何ですか？

・品揃えが良い58.4%・値段の安さ55.6%・一カ所でまとめて買える52.8%

●町内で買う日用品をどう評価していますか？

・とても満足、やや満足16.3% ・とても不満、やや不満44.7%

●何に不満を持っていますか？

・商品の品揃え51.6%・鮮度及び品質26.7%・開店時間が遅い19.7%・閉店時間が早い17.4%

分析→日用品の買い物先は深川市のスーパーで買う傾向が非常に強く 購買率 町内26.8% 町外73.2%

町民が求める買い物環境について

●どういう買い物環境を求めますか？

・生鮮食品など少量パックなどの品揃え31.9%、喫茶店や交流施設など街中で休憩できる場所23.3%、宅配サービス16%

●買い物支援サービスをいくらなら利用しますか？

・買い物バス利用希望者～9.2%（その内100～200円が46.7%、200～300円28.3%）

・宅配サービス利用希望者～6%（その内100～200円35.6%、200～300円22.1%）

・買い物代行サービス利用希望者～8.4%（その内300円以上36.4%、100～200円30.9%、200～300円18.2%）

・配食サービス利用希望者～8%（その内500～600円46.2%、300～400円26.9%）

●Aコープ閉鎖後の生活は？

・大変困る34.1%、将来的に困る39.5%、合わせて73.6%が困ると回答。

●Aコープ北竜店に代わる商業施設について

70.7%が代わりとなる店舗等の施設が必要と回答。規模的には小さくて良い。

・飲食が出来る・バスを待つ場所、友達と話しが出来る場所・気兼ねなく話せる場所が欲しい

分析→鮮度の向上、価格、品揃えが強化されればという条件つきだが、40.6%は町内で日用品を買いたいと思っており利用ニーズはある。

しかし、人口減少と高齢化進展により地元購買率が現状のまま推移すると、消費購買力が低下し北竜町の商業基盤が崩壊する可能性もある。

①買い物目的だけに来訪する商業施設ではなく、買い物目的以外の来訪を多くするためコミュニティの場を併設した複合型、多機能型の施設づくり。町民が希望する宅配・移動販売等のサービス支援など工夫が必要。

②家庭だけでなく事業所の購買も地元からの商品調達が強く求められる。

③観光客や交流人口の消費を促すため、特産物の発掘と加工品の見直し。